



新座中だより

学校教育目標

強く 明るく 考える

〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号

電話(048)478-3668 FAX(048)482-0131

新座市立新座中学校

令和3年度 9月号



心を込めたあいさつ

校長 高橋 利明

出張でJR武蔵野線に乗っていたときのことで、その車内で、ご高齢のご婦人に席を譲りました。すると、「ありがとうございます。」と静かな声でお礼の言葉をいただいたので、「どういたしまして・・・」と言うと笑顔で会釈をしてくれ、温かい気持ちになりました。

あらためて、「ありがとう」の言葉について考えてみました。他の方に親切にした時、自然に返された「ありがとう」はたいへん気持ちの良いものです。「ありがとう」は、「有り難い」、「有り得ない」という意味だったと聞いたことがあります。「なかなかありそうもない」、「珍しい」ことから、後には、「身にしみてうれしい」という、お礼や感謝の気持ちを表すことになっていったものだといわれます。

相手の行為を素直に受け止め、心を込めて「ありがとうございます。」と言えるように、また相手から「ありがとうございました。」と言われるような親切や協力、思いやりの行動が取れるようになりたいものです。

「おはようございます。」、「ありがとうございます。」、「失礼しました。」、「すみませんでした。」のいわゆる「オアシス運動」を素直に言葉に出して言えた時、お互いの思いが伝わり合うと思います。そして、心を込めて言おうとする時、お互いへの「思いやり」が必要になります。まずは、あいさつの形をしっかりと身に付けること。そして、将来的には、形だけではなく、相手を思いやる心を込めたあいさつができる生徒になってほしいと考えています。

今年度も新座中学校では、これまで同様、「あいさつ」を重点的に指導しています。生徒会でも

『あいさつ埼玉No.1』をスローガンの一つに掲げ、あいさつ運動に取り組んでおり、生徒たちのあいさつは、地域の方々から、お褒めの言葉をいただくこともあります。生徒たちの心にある静かな敬意や感謝の気持ちを受け取っていただけているのだと思います。ありがとうございます。

しかし、「大人から声をかけないとあいさつをしない」、「声が小さい」、「元気がない」、等というご助言もいただいております。小さい頃から不審者対応として「知らない人と話さない」、「知らない人について行かない」と厳しく指導を受けたスマホ世代の生徒たちは、コミュニケーション能力に課題のある子どもも多く、また「コロナで人との会話を控えるように言われている」というそんな最近の事情もご理解いただければと思います。

そこで、大変失礼なお願いではございますが、保護者、地域の皆様方におかれましては、ソーシャルディスタンスをとりながらも皆様方からのあいさつをしていただければ幸いです。将来的には、生徒たちの方から心のこもったあいさつができるよう、引き続き今後も指導してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【お願い】新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が9月12日(日)まで延長され、これまで以上に感染のリスクが高まっています。特に食事や水分補給、熱中症予防のためにマスクを外した時には、「話さない、会話をしない」ことを徹底するよう、ぜひご家庭からもお子さんにご指導くださいますようお願いいたします。ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

「凡事徹底」

「自他共栄」

「文武両道」